ホクト株式会社

2027年3月期第2四半期 決算説明資料

2026年11月20日

東証プライム市場：1379

1. 2027年3月期第2四半期 決算報告

2. 国内きのこ事業の進捗

3. 海外きのこ事業の進捗

4. 参考資料

国内きのこ事業の収益拡大が牽引し、増収・大幅増益。売上高・営業利益ともに計画を上回って進捗

国内事業	**国内きのこ事業は販売単価の上昇を背景に大幅増益** • エリア戦略やマーケティング施策が奏功し、主力3品すべてで販売単価が上昇 • 需要予測に基づく生産調整により、需給バランスと販売単価の安定化を推進 • 増収効果により、資材・エネルギーコストの上昇を吸収 • 国内きのこ事業の収益拡大が、全社の増収・大幅増益を牽引
海外事業	**海外は北米事業が苦戦するも、マレーシアは回復基調** • 米国では需要減少を受け、需給適正化に向けた生産調整や在庫削減を実施するも減収減益 • 営業体制を強化し、Krogerへの新規配荷を開始するなど販売チャネルの拡大を推進 • マレーシアでは積極的な販促活動により販売数量が回復し、収益改善
株主還元	• **2027年3月期の中間配当は10円（前回予想から変更なし）**

2027年3月期第2四半期 連結決算（前期比）

国内きのこ事業におけるエリア戦略・マーケティング施策が奏功し、販売単価が上昇。
売上高は前年比3.9%増、営業利益は前年同期比約12倍の7.1億円へ拡大

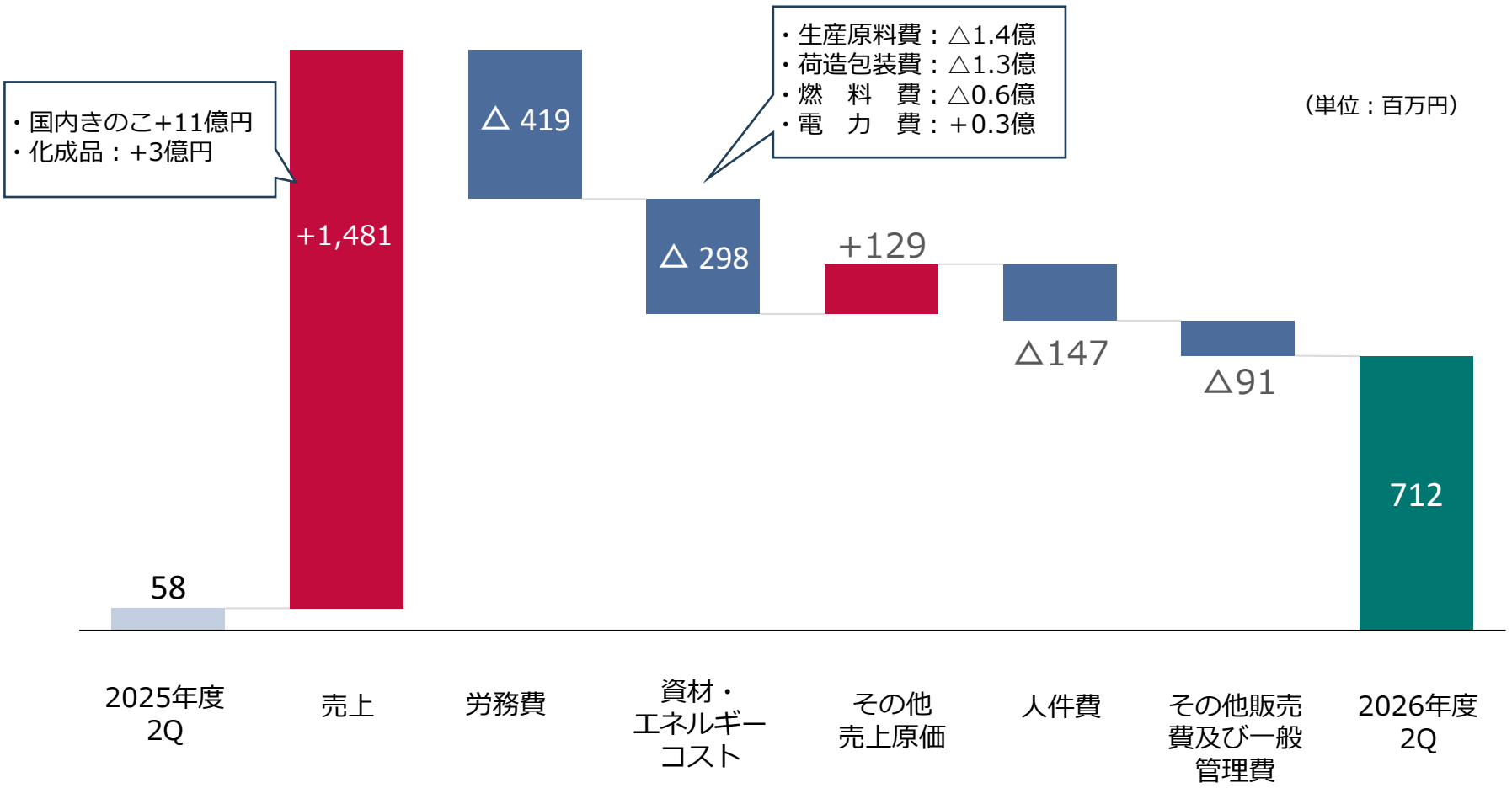
(百万円)

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前期比増減額	前期比増減率
売上高	38,080	39,561	1,481	3.9%
売上総利益	8,364	9,256	892	10.7%
売上総利益率	22.0%	23.4%		
販管費	8,305	8,544	238	2.9%
営業利益	58	712	654	1126.0%
営業利益率	0.2%	1.8%		
経常利益	307	827	519	168.6%
経常利益率	0.8%	2.1%		
当期純利益 ※	1,401	386	△1,014	△72.4%
当期純利益率	3.7%	1.0%		
一株当たり利益	44.79円	12.34円		

※前期上田センター火災保険金計上による差分

2027年3月期第2四半期 営業利益の増減要因

労務費・人件費、資材・エネルギーコスト等の上昇を、国内きのこの増収効果等で吸収し、営業利益は前年比6.5億円のプラスとなった



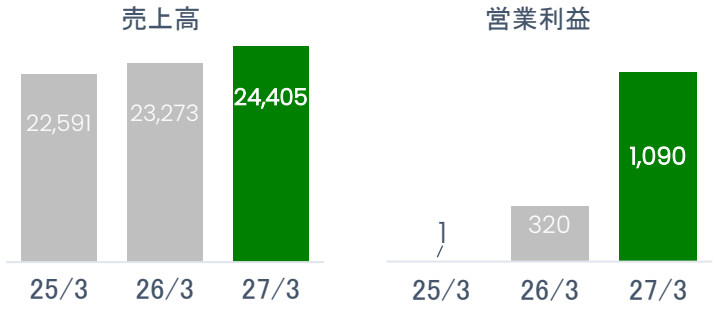
2027年3月期第2四半期 セグメント別サマリー（前期比）

国内きのこ事業が増収・大幅増益となり全社業績を牽引。化成品・加工品も増益を確保

（単位：百万円）

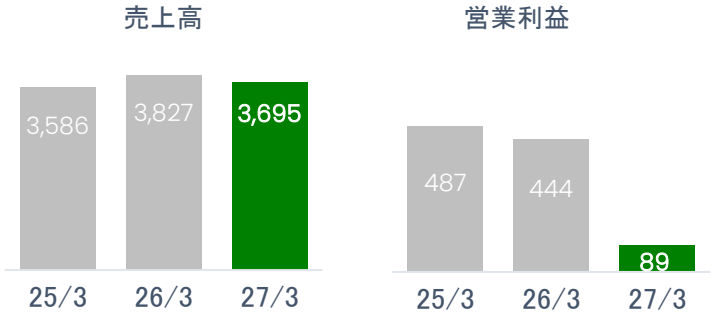
国内きのこ事業

✓ エリア戦略、マーケティング施策の奏功によりきのこ単価が堅調に推移し増収増益



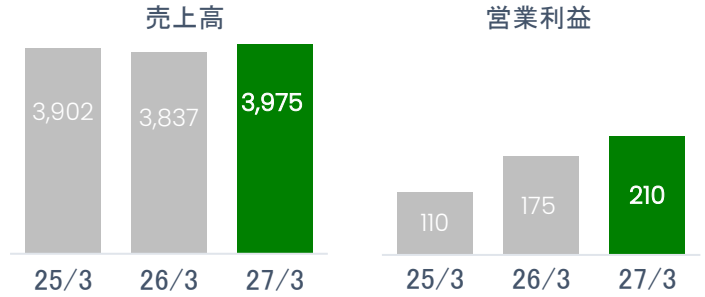
海外きのこ事業

✓ マレーシアは積極的な販促活動により利益改善したが、アメリカの不調が影響し減収減益



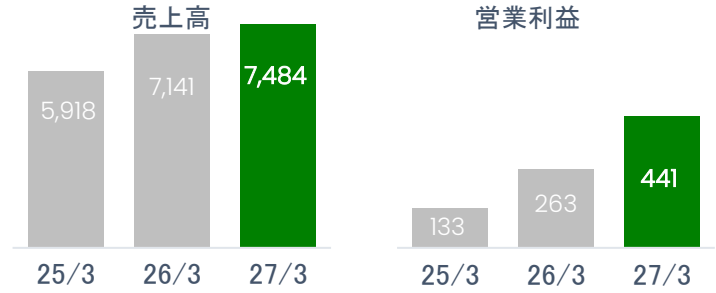
加工品事業

✓ 外食及びデリカ・中食向け商材が好調に推移。アーデンもOEM生産及びPB品販売増で増収増益



化成品事業

✓ 中東情勢の影響もある中、安定供給と価格改定に注力。自社製品の受注も安定推移し増収増益



当社の競争優位

研究開発を起点に、栽培資材・全国生産網・直接販売網を一体運営することで、高品質・安定供給・高生産効率を実現

競争優位の源泉

研究開発

高品質・高収量を実現する研究開発力
- ✓ブナシメジ、エリンギ等を開発・普及
- ✓品種開発から量産体制構築まで一体推進

生産

高品質なきのこを日本全国・海外へ安定供給する生産基盤
- ✓ 国内33拠点＋海外を展開
- ✓ 全国で均一品質・安定供給を実現

販売

市場ニーズを商品化につなげる販売ネットワーク
- ✓全国200社超の小売企業と直接取引
- ✓消費者の声を研究開発・生産へ還流

栽培資材も内製



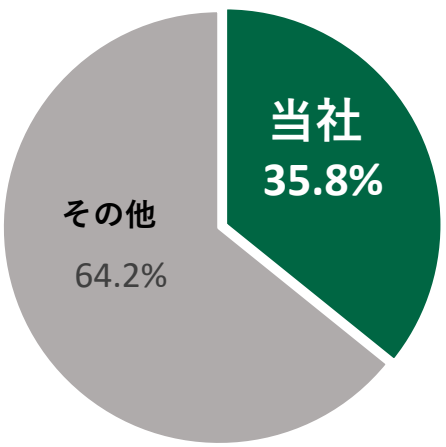
国内トップシェアを支える事業基盤

当社の国内シェア(2025年3月期)

当社は主力の３種において圧倒的シェアを有し、マーケットリーダーとして市場を牽引

ブナシメジ

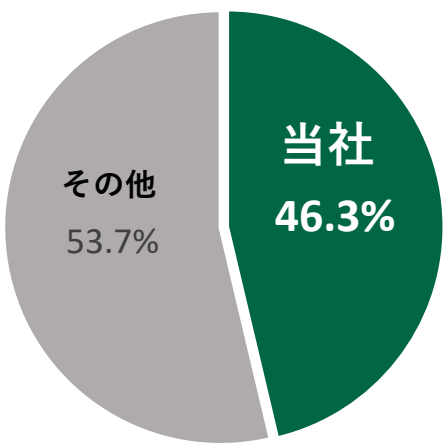




国内総生産量
117,536 t

エリンギ

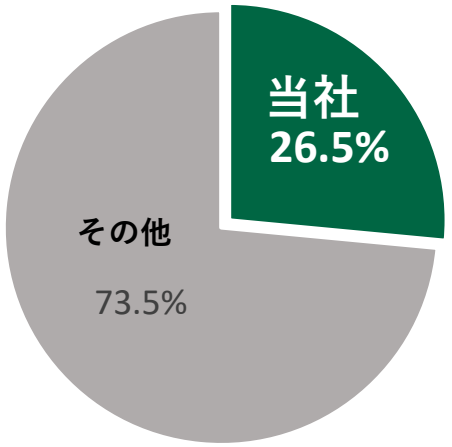




国内総生産量
34,639 t

マイタケ



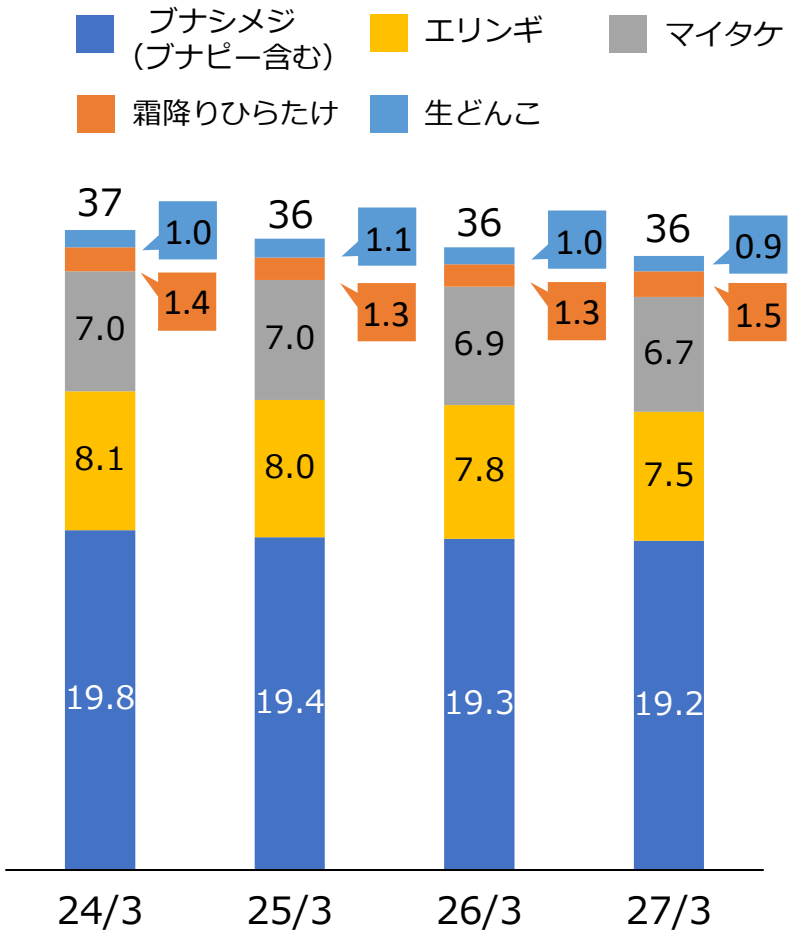


国内総生産量
56,609 t

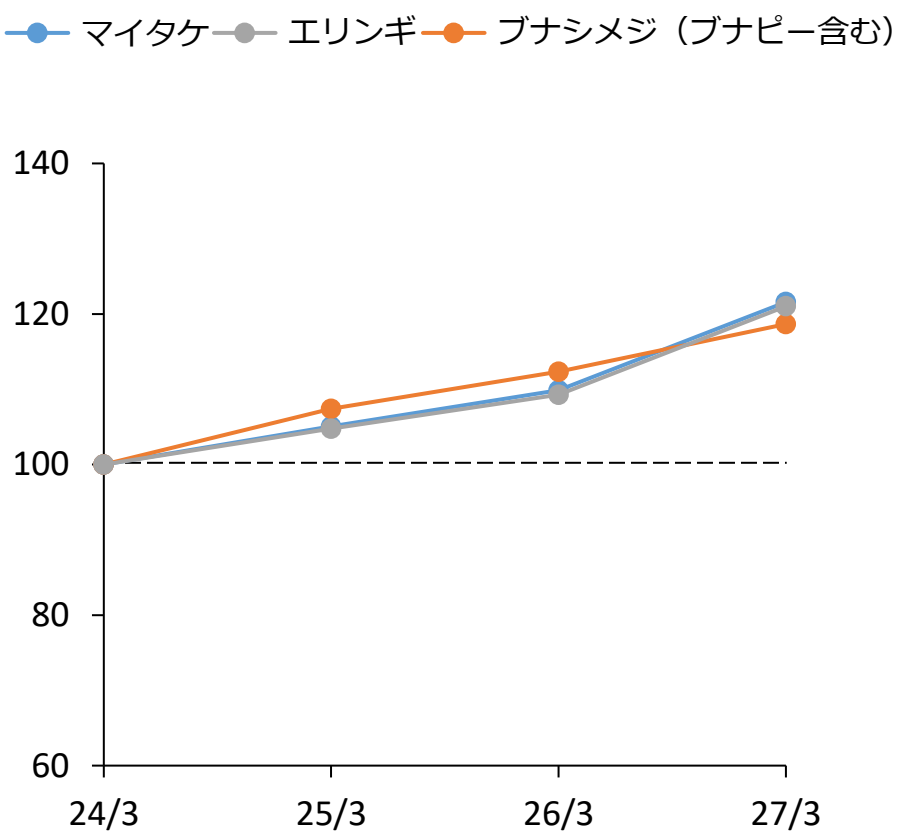
2027年3月期2Q 国内きのこ種別生産量・単価の推移

生産量を適正にコントロールしながら、エリア戦略・マーケティング施策の効果により主要3品すべてで販売単価が上昇

生産量の推移（1,000t）



主要アイテムの単価推移（指数）



2027年3月期第2四半期 海外きのこ事業（前期比）

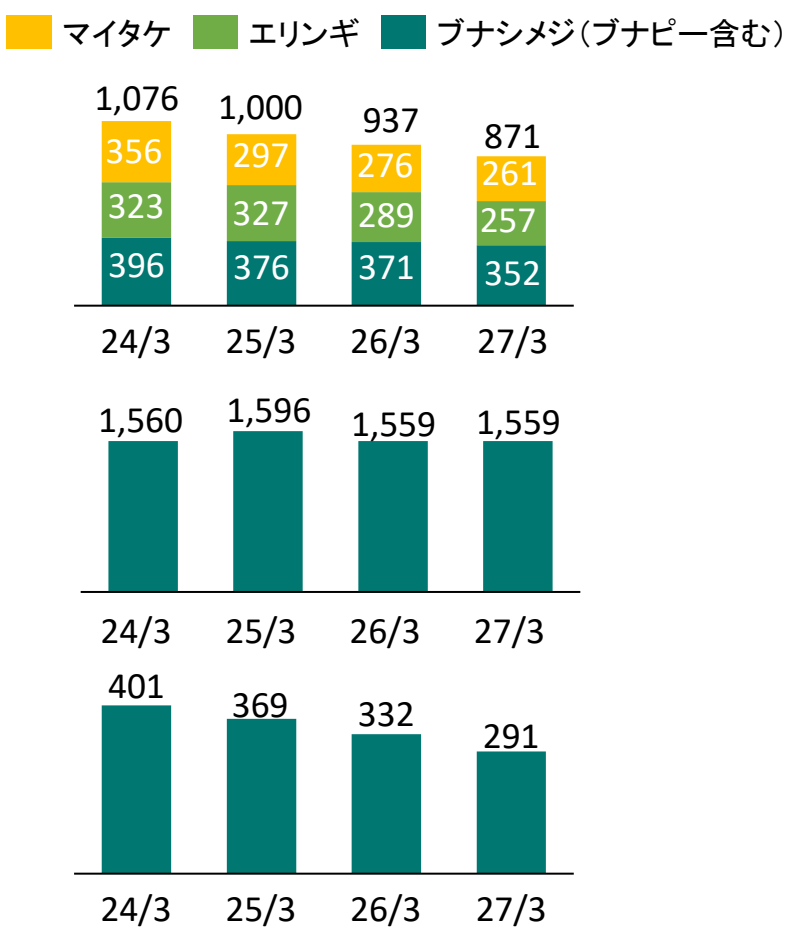
米国は販売数量の減少により減収・赤字となった一方、需給調整・営業強化により販売単価の正常化と配荷拡大を推進。マレーシアは販促強化により収益改善

		2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	前期比増減額	前期比増減率
アメリカ	売上高	1,387万$	1,190万$	△197万$	△14.2%
	営業利益	112万$	△153万$	△266万$	–
	為替	148.88	157.35		
台湾	売上高	307百万NT$	310百万NT$	3百万NT$	1.1%
	営業利益	56百万NT$	49百万NT$	△6百万NT$	△12.4%
	為替	4.88	4.94		
マレーシア	売上高	677万RM	699万RM	22万RM	3.3%
	営業利益	△233万RM	△133万RM	99万RM	–
	為替	35.32	38.58		

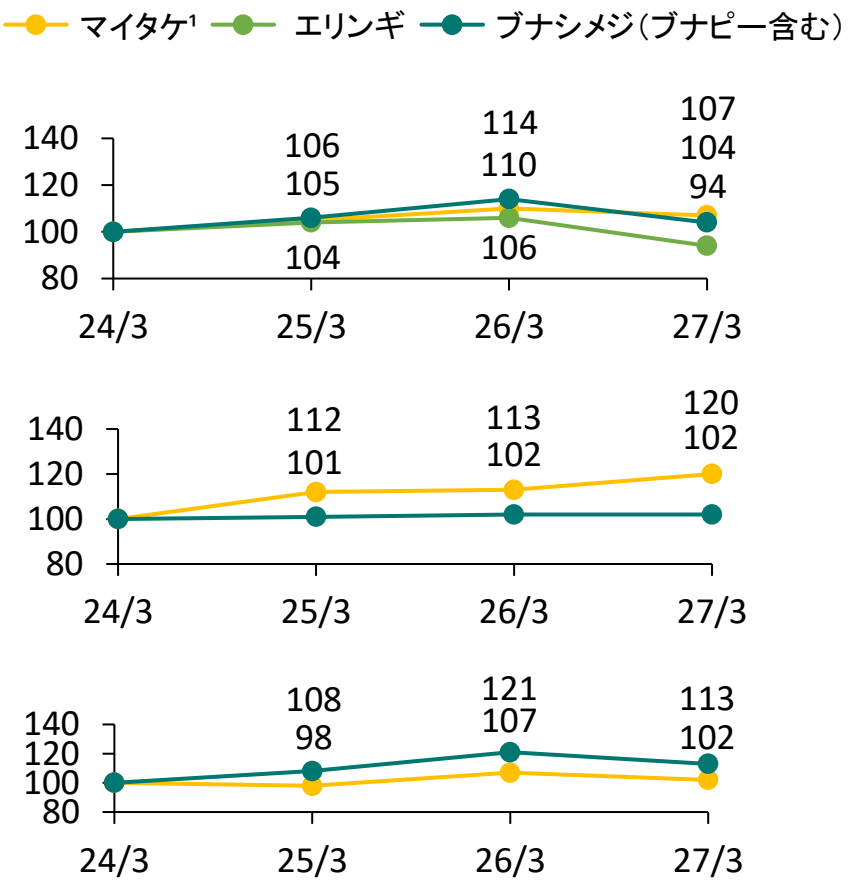
2027年3月期2Q 海外・国別きのこ種別生産量・単価の推移

米国は中東情勢の影響による消費縮小に伴い販売量が減少。需給に応じた生産調整や在庫削減を実施し、通常単価への復帰を進めるも、前年同期比では販売単価も低下

生産量の推移（単位：t）



単価の推移(指数)



注1：台湾と東南アジアのマイタケは日本からの輸入

＊ 数字は2Q累計

2027年3月期第2四半期 連結決算（計画比）

国内きのこの販売単価上昇と販管費の抑制により、中東情勢に起因するコスト増を吸収。売上高・営業利益ともに計画を上回って進捗

(百万円)

	期初計画	2027年3月期 第2四半期	計画差	計画比増減率
売上高	38,900	39,561	661	1.7%
売上総利益	9,090	9,256	166	1.8%
売上総利益率	23.4%	23.4%		
販管費	8,980	8,544	△435	△4.9%
営業利益	110	712	602	547.7%
営業利益率	0.3%	1.8%		
経常利益	330	827	497	150.6%
経常利益率	0.8%	2.1%		
当期純利益	△94	386	480	–
当期純利益率	△0.2%	1.0%		
一株当たり利益	△3.00円	12.34円		

2027年3月期第2四半期 セグメント別概況（計画比）

国内きのこ事業が販売単価の上昇等により計画を上回り、全社業績を牽引

（百万円）

		期初計画	2027年3月期 第2四半期	計画差	計画比増減率
国内きのこ事業	売上高	23,805	24,405	599	2.5%
	営業利益	562	1,090	527	93.7%
海外きのこ事業	売上高	4,147	3,695	△451	△10.9%
	営業利益	426	89	△337	△79.1%
加工品事業	売上高	4,061	3,975	△85	△2.1%
	営業利益	121	210	88	72.7%
化成品事業	売上高	6,880	7,484	604	8.8%
	営業利益	312	441	129	41.4%

2027年3月期第2四半期 海外きのこ事業（計画比）

米国は販売数量減少を主因に計画未達。一方、マレーシアでは積極的な販促活動により、計画を上回って収益改善

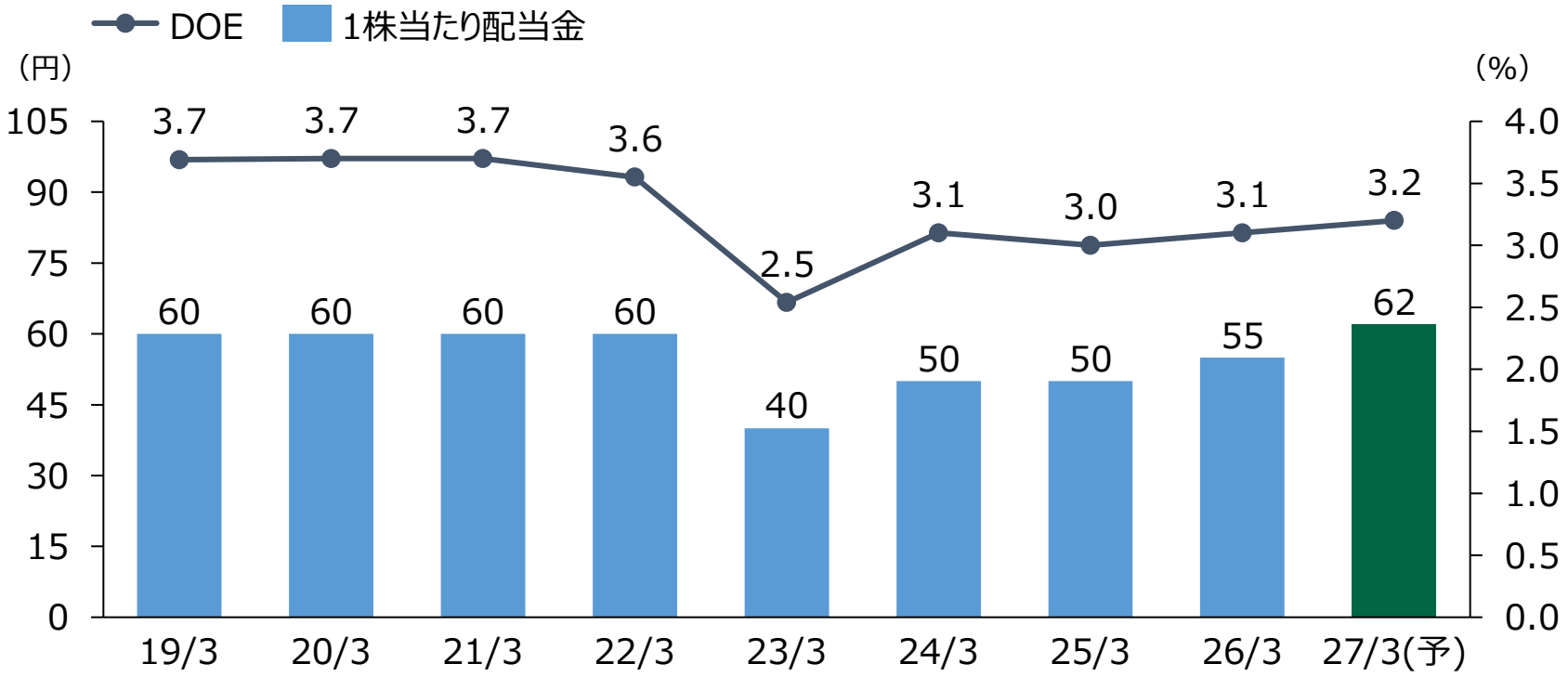
		期初計画	2027年3月期 第2四半期	計画差	計画比増減率
アメリカ	売上高	1,424万$	1,190万$	△233万$	△16.4%
	営業利益	67万$	△153万$	△220万$	–
	為替	156.60	157.35		
台湾	売上高	321百万NT$	310百万NT$	△10百万NT$	△3.3%
	営業利益	64百万NT$	49百万NT$	△15百万NT$	△24.0%
	為替	4.90	4.94		
マレーシア	売上高	803万RM	699万RM	△104万RM	△13.0%
	営業利益	△202万RM	△133万RM	68万RM	–
	為替	39.70	38.58		

株主還元

DOE3.5%の目標に向け、2027年3月期は前期比7円増配となる年間62円の配当を予定

株主還元方針

① 必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努める
② **DOEを2029/3期に3.5%**とすることを目標に配当
③ 内部留保は将来の成長に不可欠な戦略投資に優先的に投下



1. 2027年3月期第2四半期 決算報告

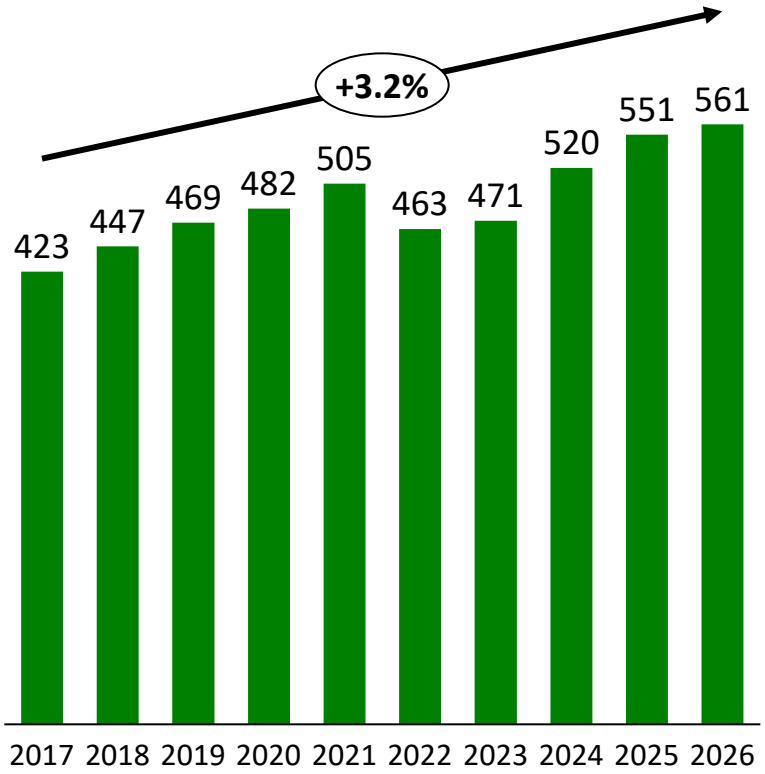
2. 国内きのこ事業の進捗

3. 海外きのこ事業の進捗

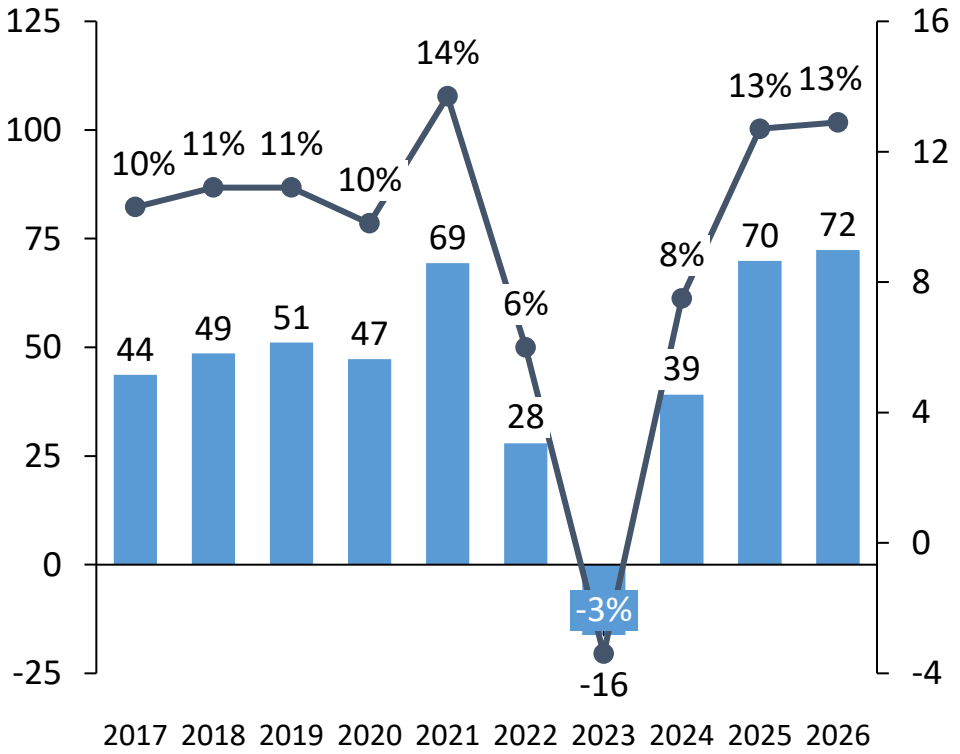
4. 参考資料

トップ企業として安定的に高品質なきのこを提供し続けることで、売上・利益ともに拡大

国内きのこ事業の売上（億円）



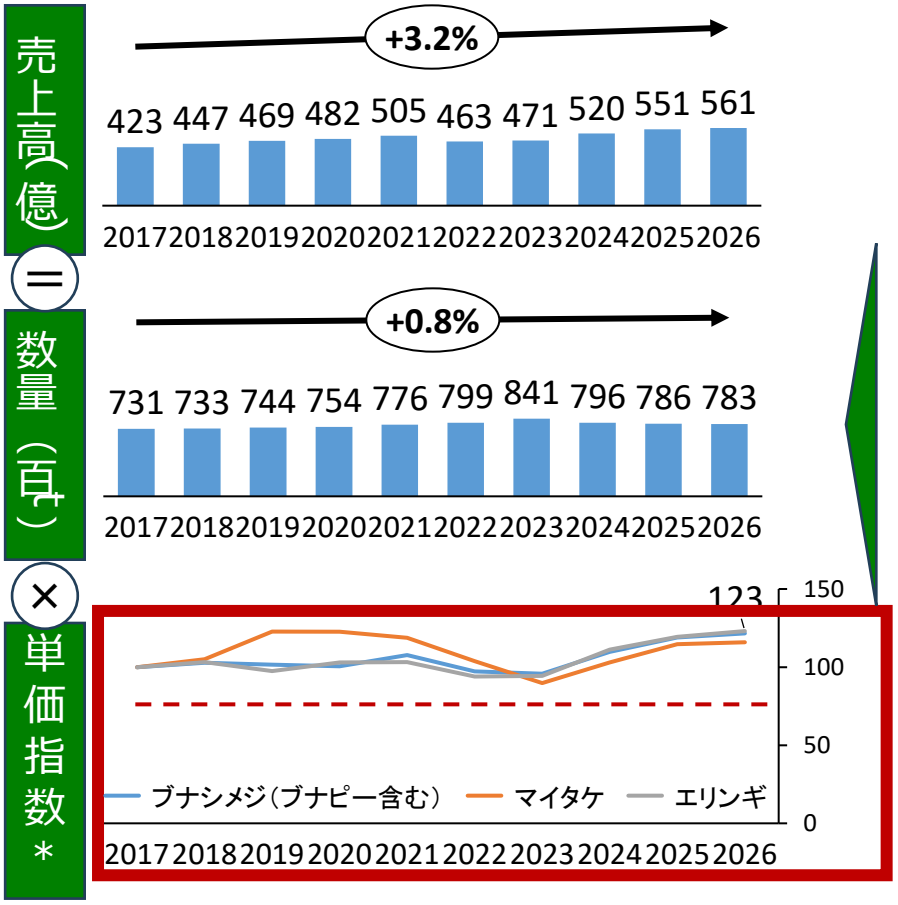
国内きのこ事業のセグメント利益（億円）・利益率%



当社の実績(2/2)

直販網を活用した営業活動、需給管理、ブランディング施策により販売単価の向上を図り、数量に依存しない売上増を実現

成長の分解



営業・ブランディング実績

営業強化

- 高配荷率・直接取引チャネルを強みに、エリアごとに未配荷アイテムの販売強化を推進
- 製販連携を強化し、毎月の生産量の細やかな調整により、単価が１年を通じて高水準で安定化

ブランディング

- きのこのリーディングカンパニーとして、喫食機会の拡大を目的として各種SNS、YouTube、TV等の多様なメディアにてきのこの食べ方、当社のきのこの品質を訴求
- 店頭でより手に取っていただける様、パッケージを刷新

詳細次頁

*2017年度の水準を100として指数化

ブランディング施策

きのこのリーディングカンパニーとして、需要喚起を目的としたメディア露出を積極推進。ぶなしめじや霜降りひらたけ等、明確な売上拡大に寄与

取り組み施策

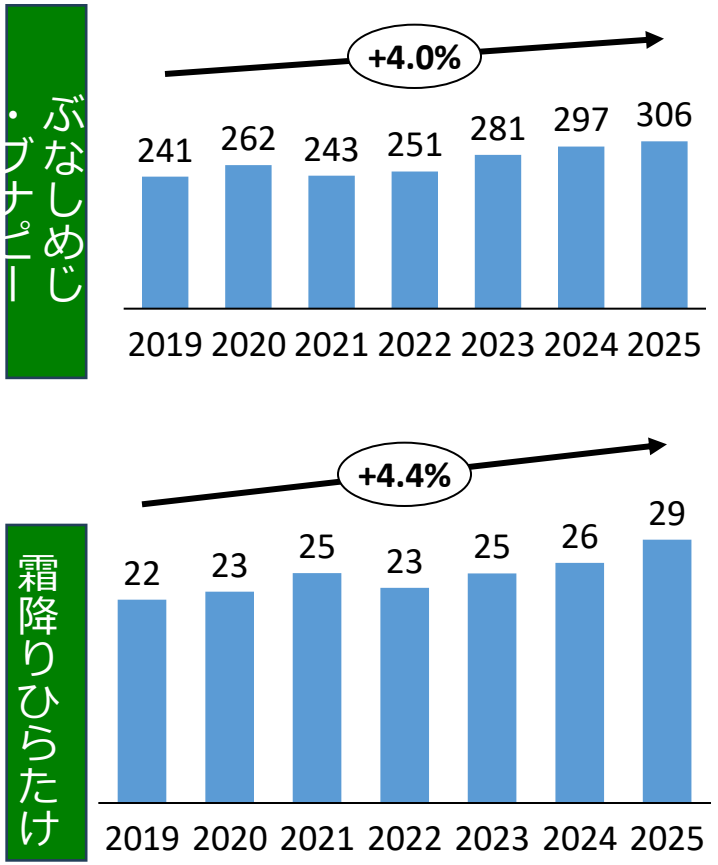
メディア露出

- YouTube登録者数569万人*の料理研究家チャンネル**「リュウジのバズレシピ」とコラボ**し、初回の2025年４月以降、計14回の企画・**累計 882万回再生***を実現
- TikTok・Instagram・YouTube**ショート動画にて若年層向けに“タイパ”を追求**した「爆速きのこメシ」レシピ動画を8件配信・累計5万回再生*を実現
- その他登録者数の多い料理系インフルエンサーやショートドラマとのタイアップを実現し、**手軽に健康を実現できるきのこの食べ方を訴求**
- 上記発信を起点にTVメディアからも引き合い増え、2026年2月フジテレビ系列『土曜はナニする!?』、2026年9月NHK Eテレ『ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪』、等に出演

パッケージ変更

- 霜降りひらたけ：2025年3月にパッケージ変更
- エリンギ：2025年11月にパッケージ変更
- カットきのこ：2026年5月にパッケージ変更

各種きのこの売上（億円）



*2026年10月末時点

ブランディング施策①（爆速きのこメシ）

「手軽・時短・健康」を切り口に、若年層・単身者に向けた新たなきのこ喫食シーンを創出

爆速きのこメシ

「一人一食一袋」きのこをおいしく
まるごと食べられるお手軽レシピ

包丁いらず

洗い物が少ない

簡単な工程



ホクト公式SNSにて配信

【公式YouTubeショート】





【公式TikTok 】





番外編　爆速きのこメシ
「ちょい足しシリーズ」

カップ麺、冷凍パスタ、レトルトカレーにきのこを一袋まるごとを「ちょい足し」





ブランディング施策①（爆速きのこメシ）

SNSやインフルエンサーとの協業を通じて若年層へのリーチを拡大し、新たな需要を喚起

①　インフルエンサータイアップ

ななOL簡単ご飯



◎フォロワー数

Instagram：33.8万人
TikTok　　：15.1万人
YouTube　：36.0万人

企業勤めのOLが残業後夜遅くに帰ってきて簡単料理をするという動画を配信しているインフルエンサー

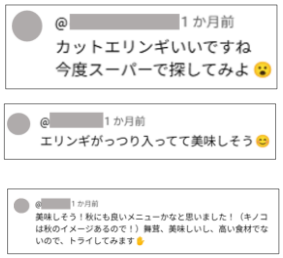
①和風きのこクリーミーパスタ
8/31(月)公開



Instagram　：30.2万回
TikTok　　：12.4万回
YouTube　：33.0万回

②マイタケと豚肉のさっぱり丼
9/18(金)公開





Instagram　：19.0万回
TikTok　　：　5.9万回
YouTube　：10.0万回

4本合計
328.6
万回※再生

②　ショートドラマ　タイアップ

ただつわたなべ



◎フォロワー数

Instagram：21.3万人
TikTok　　：13.9万人
YouTube　：5.0万人

くすっと笑えるコミカルなショートドラマを配信する劇団所属の俳優2名のユニット

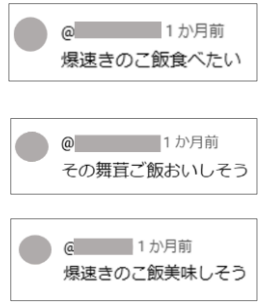
①帰宅
～爆速きのこメシ編～
8/28(金)公開



Instagram　：120.6万回
TikTok　　：30.1万回
YouTube　：38.0万回

②プラシーボ
～爆速きのこメシ編～
9/11(金)公開





Instagram：11.3万回
TikTok　　：13.4万回
YouTube　：　4.7万回

※ 2026/9/29現在

ブランディング施策②（パッケージ変更）

店頭での視認性・商品訴求力向上に向け、主要商品のパッケージを順次刷新





2025年3月変更





2025年11月変更









2026年5月変更

1. 2027年3月期第2四半期 決算報告

2. 国内きのこ事業の進捗

3. 海外きのこ事業の進捗

4. 参考資料

米国：営業力の強化・拡販の実績

東海岸エリアでの人材強化・営業拠点設営が進み、全米最大級のスーパーKrogerとの取引が開始する等、これまで手薄だった中部・東部市場への展開が着実に進展

米国スーパーTOP10*の配荷状況

チェーン名	店舗数	エリア	当社きのこの配荷状況
Walmart	約4,600	全米	未配荷
Kroger	**約2,720**	**中西部・南部・東部**	**配荷開始（26/6~）**
Albertsons/Safeway	約2,200	西海岸・西部・東海岸	未配荷
Ahold Delhaize USA	約2,000	東海岸	未配荷
Publix	約1,350	南東部	未配荷
Hy-Vee	約700	中西部	未配荷
Trader Joe's	**約600**	**西海岸・東海岸**	**配荷済**
Whole Foods	**約530**	**全米主要都市**	**配荷済**
Sprouts	約450	西部・南部	未配荷
H-E-B	約400	テキサス	未配荷

*ディスカウント業態、フランチャイズ集合を除く
出所：Orbital US grocery market, mapped 2026/6

Krogerグループでの取り扱い状況

全米2,700店超を展開するKrogerグループへの配荷を開始し、米国における販売チャネルを拡大

Krogerグループとは



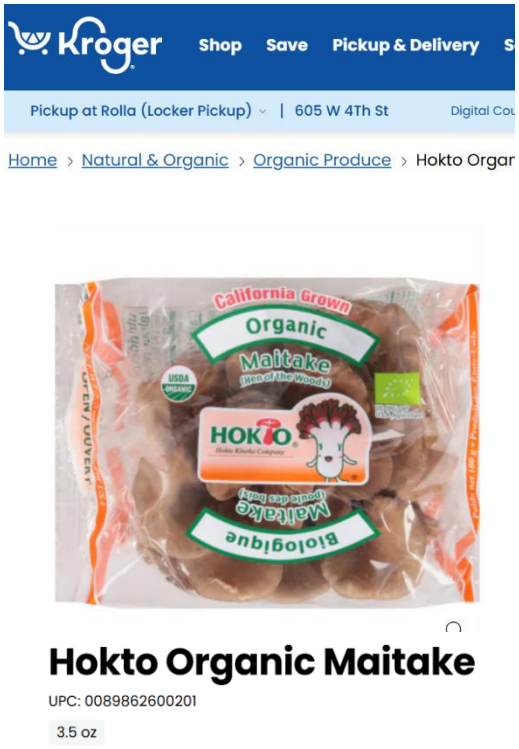
Ralphs　Fred Meyer　KING Soopers　Smith's

店舗数
2,700店超

売上高
約1,476億ドル

全米各地で地域に根差した
複数のスーパーマーケットブランドを展開

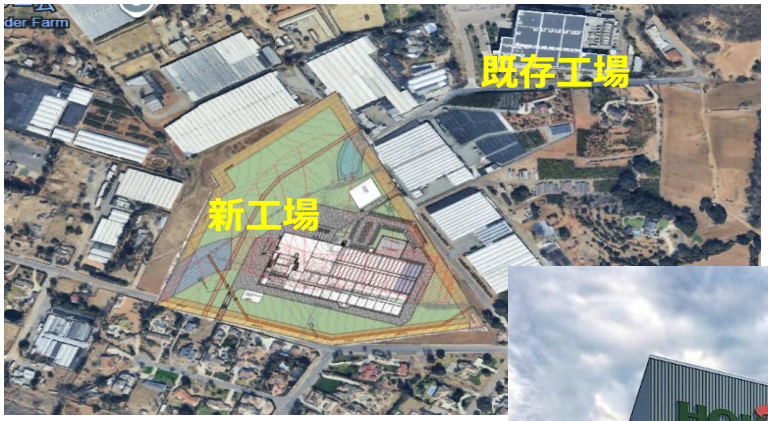
当社製品の取り扱い状況



店頭での取り扱い
及びECサイト上にて掲載有り

米国新工場の進捗：工場外観イメージ

米国第2工場は2029年3月期の稼働開始に向け計画通り進捗。中長期の販売拡大を支える供給体制を着実に整備





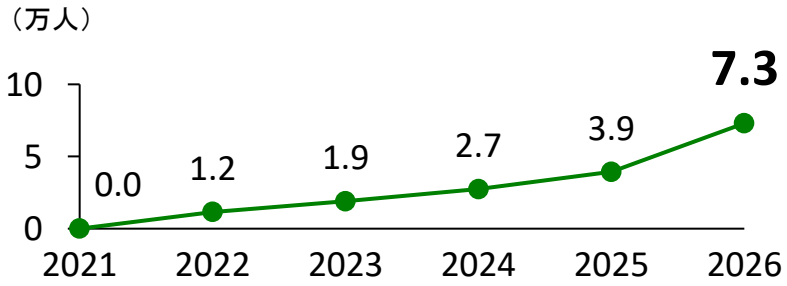
北米におけるマーケティング施策

Instagram等SNSを通じたレシピ配信、インフルエンサーコラボ、インストアプロモーション等多様なチャネルにて当社およびきのこの認知拡大を推進

■当社の英語圏用Instagramアカウント



■フォロワー数の推移



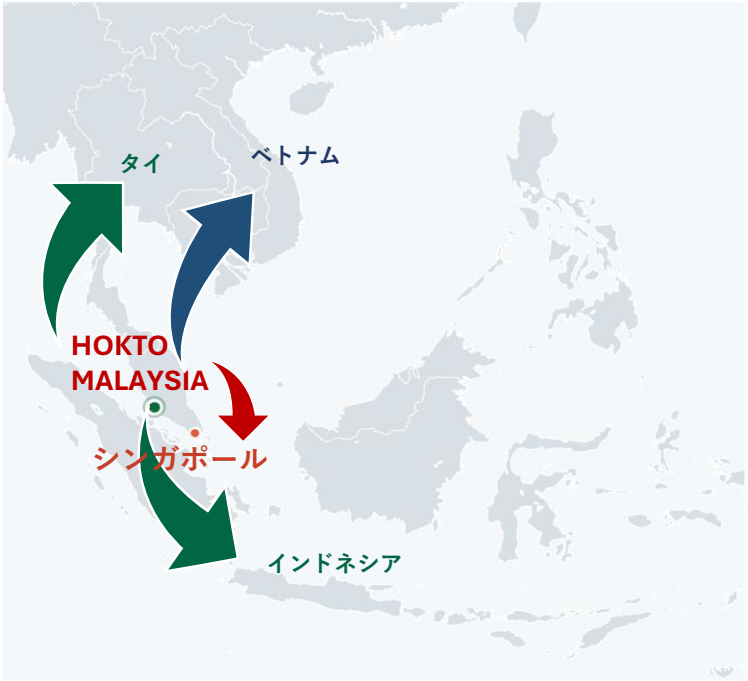
■インストアプロモーションの実施

アメリカ最大の日本食スーパーマーケットチェーンであるMitsuwa Market Placeにて特設ブースを設け当社きのこの販促活動を実施



ASEANにおける戦略と進捗

マレーシア工場を起点に、シンガポールをはじめとするASEAN諸国に展開。
積極的な販促活動が功を奏し、単価を維持しつつ販売数量の回復を実現



主力エリア：受注拡大中

注力エリア：取引先回復中

挑戦エリア：今後強化予定

■販売活動強化

- 試食販売・Roadshow実施回数(上半期)：
  前年10回 → **58**回へ大幅増加
- 各国現地スタッフの積極起用によるコミュニケーション強化





■マーケティング強化

- 現地インフルエンサーDapurtiyah氏を起用したマーケティングの実施

■日本企業とのコラボレーション

- キッコーマン様とコラボ試食イベントの実施



1. 2027年3月期第2四半期 決算報告

2. 国内きのこ事業の進捗

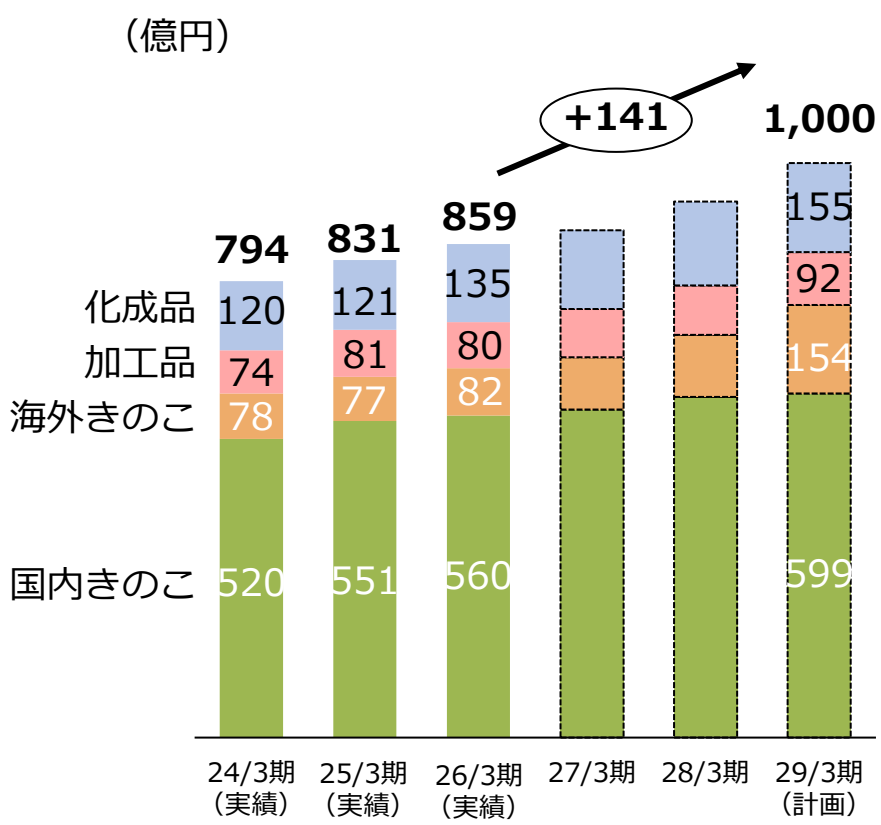
3. 海外きのこ事業の進捗

4. 参考資料

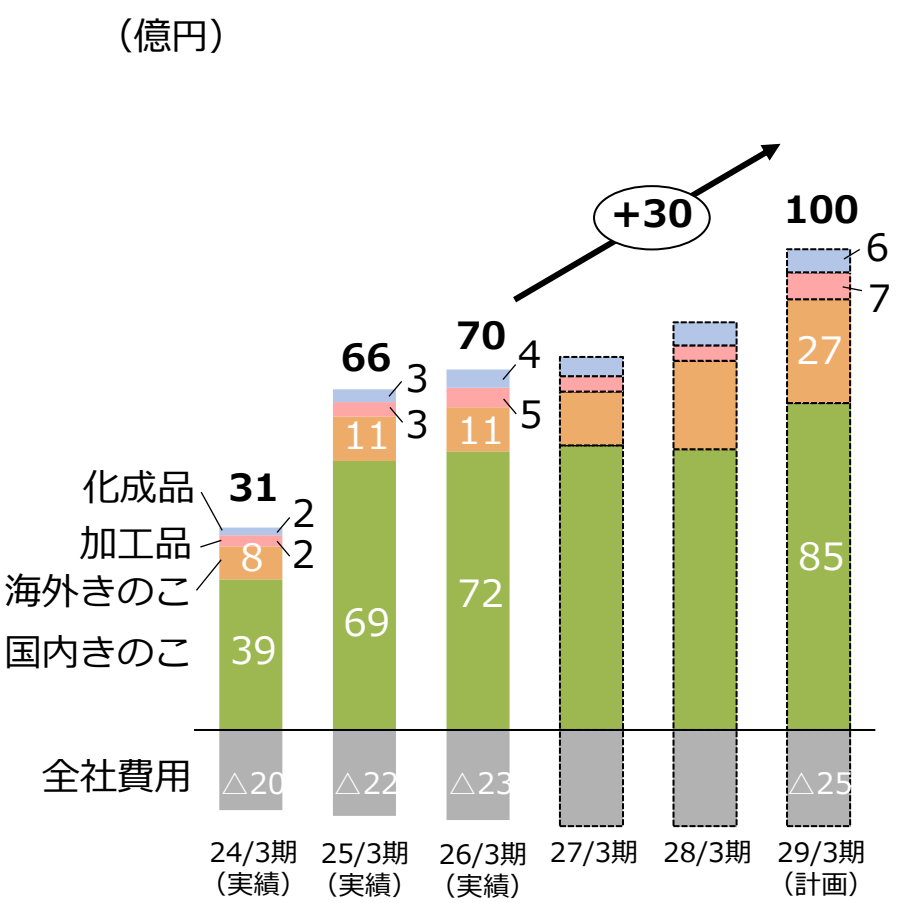
中期経営計画

2029年3月期に売上1,000億円、営業利益100億円の達成を目指す

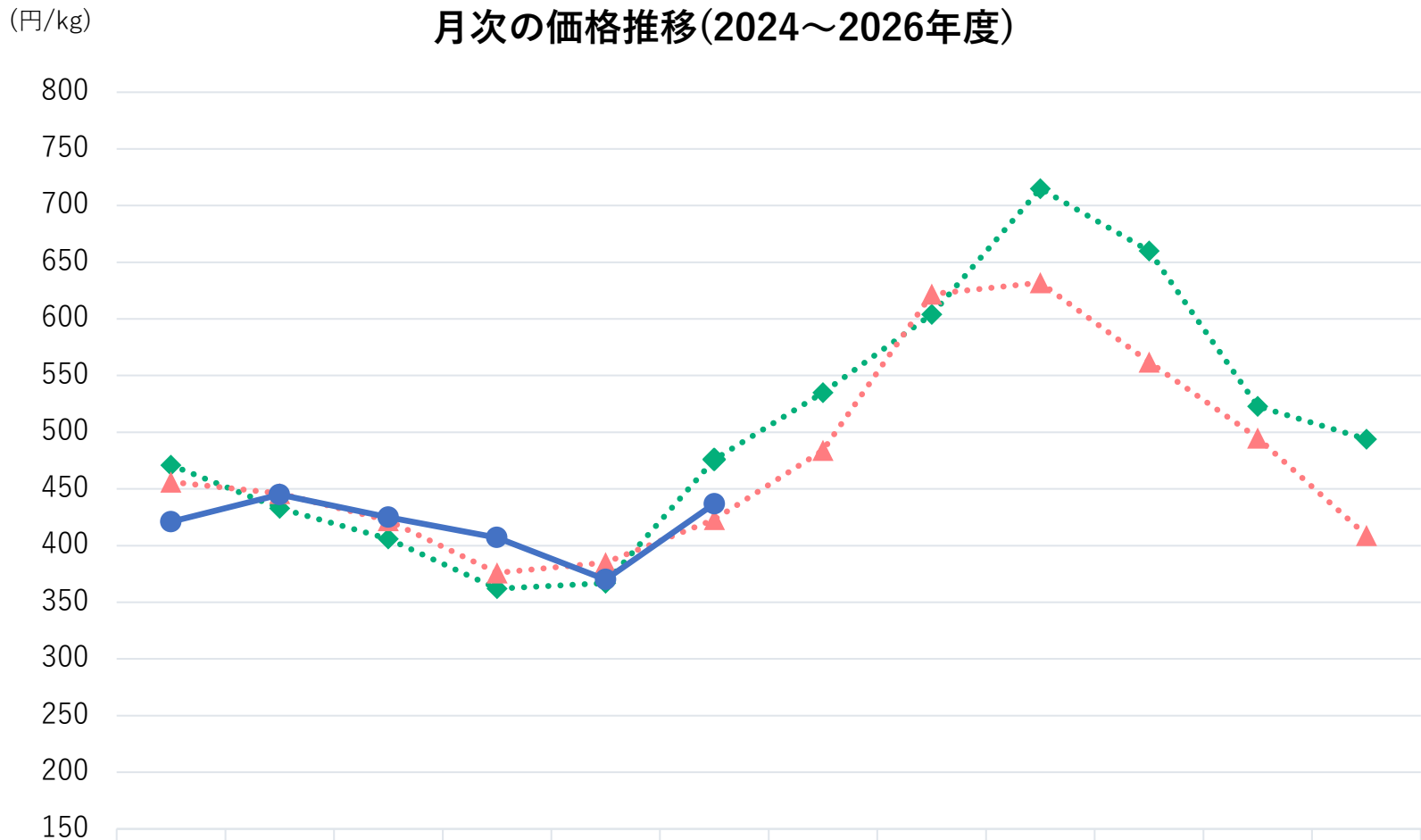
売上高（連結）



営業利益（連結）



(参考)ブナシメジ 市場取引価格の推移

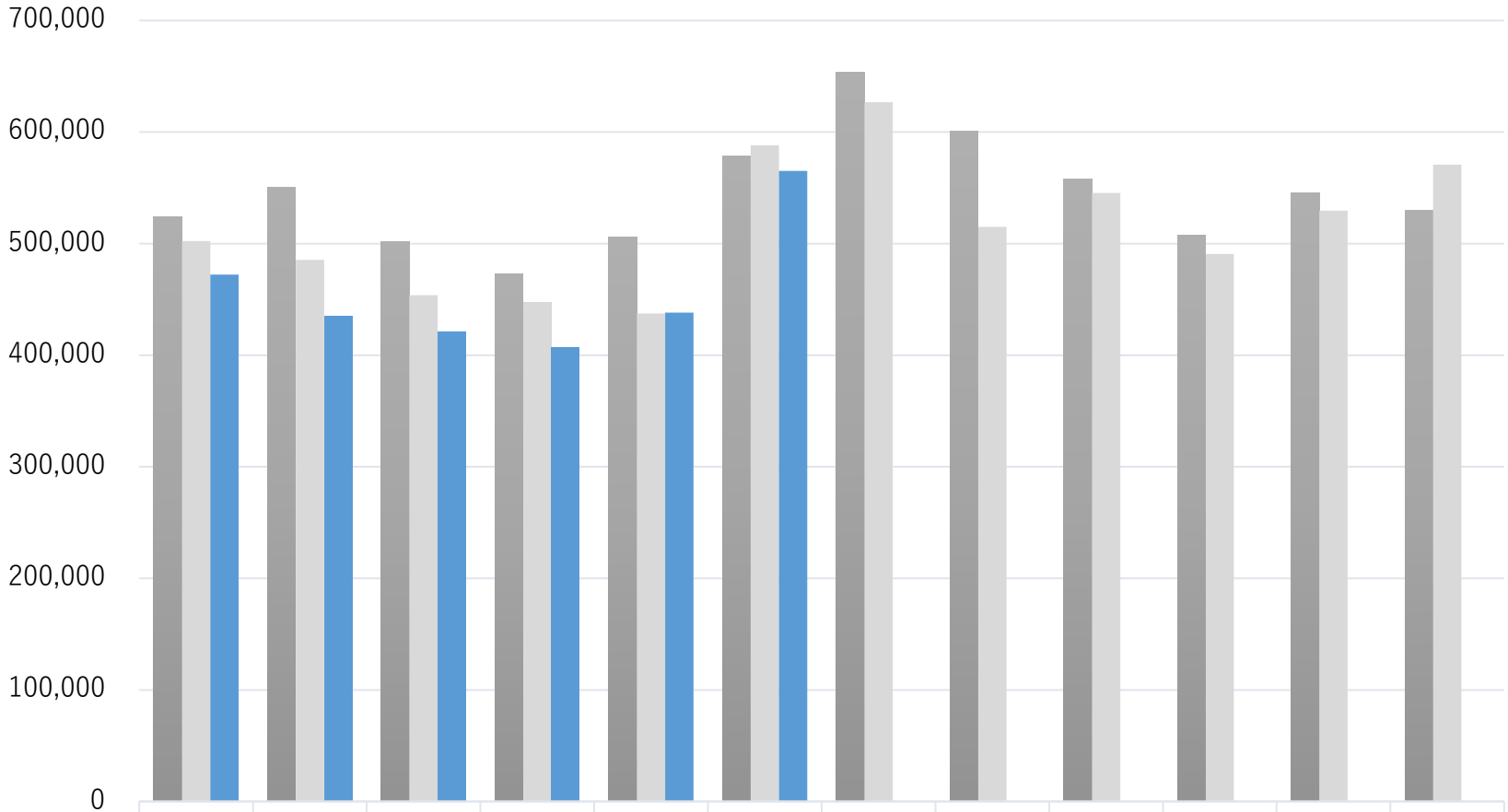


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均価格
2024年度	471	433	406	362	367	476	535	604	715	660	523	494	508
2025年度	456	446	422	376	385	423	484	622	632	562	495	409	478
2026年度	421	445	425	407	370	437							419

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

(参考)ブナシメジ 市場販売量の推移

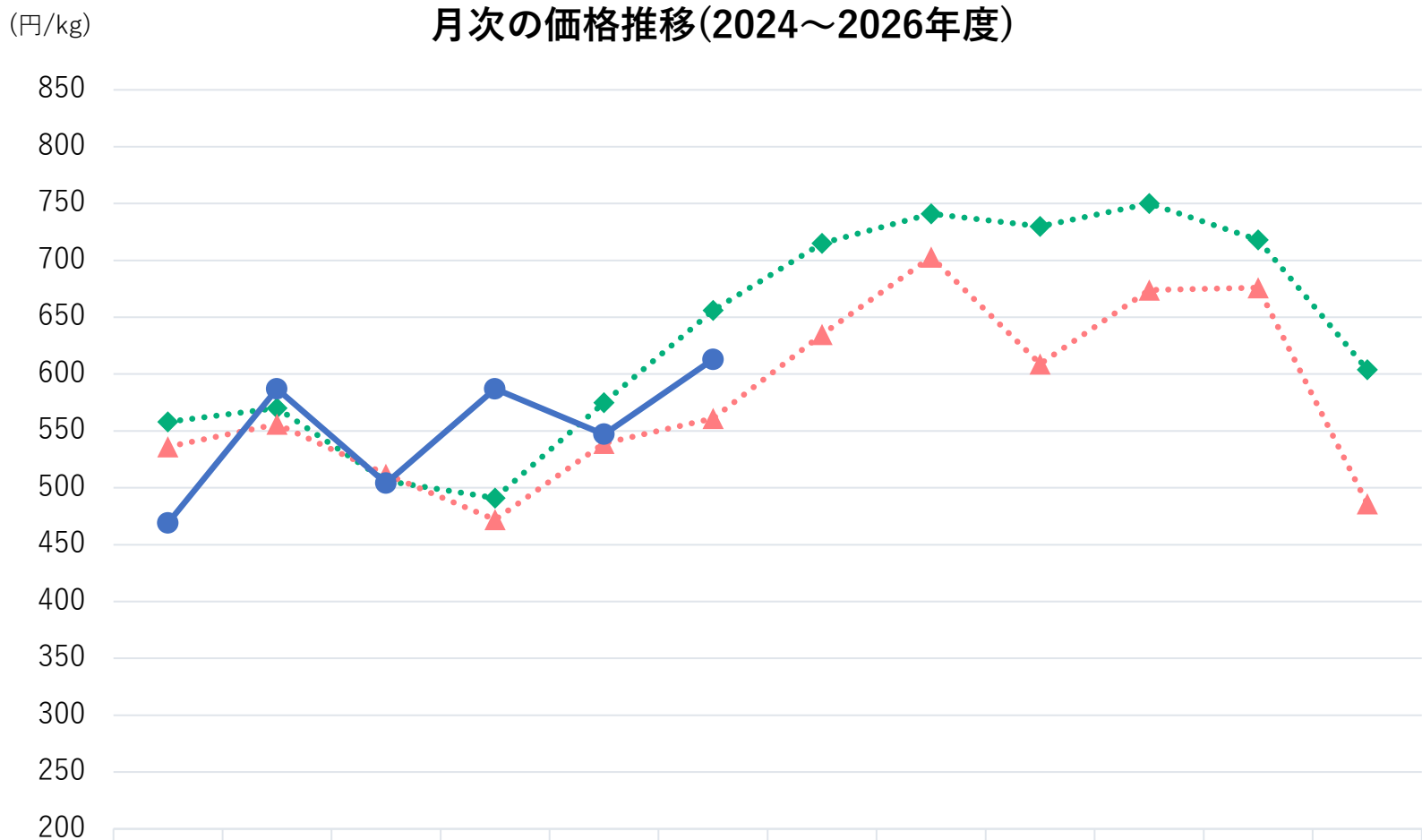
月次の販売量推移(2024～2026年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間販売量
2024年度	524,047	550,738	501,797	472,643	506,322	578,585	653,417	600,727	557,566	507,922	545,553	529,624	6,528,941
2025年度	502,476	485,332	453,870	447,737	437,420	588,166	626,762	514,931	545,377	490,809	529,656	570,879	6,193,415
2026年度	472,314	435,436	421,324	406,858	438,226	565,076							2,739,234

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

(参考)エリンギ 市場取引価格の推移

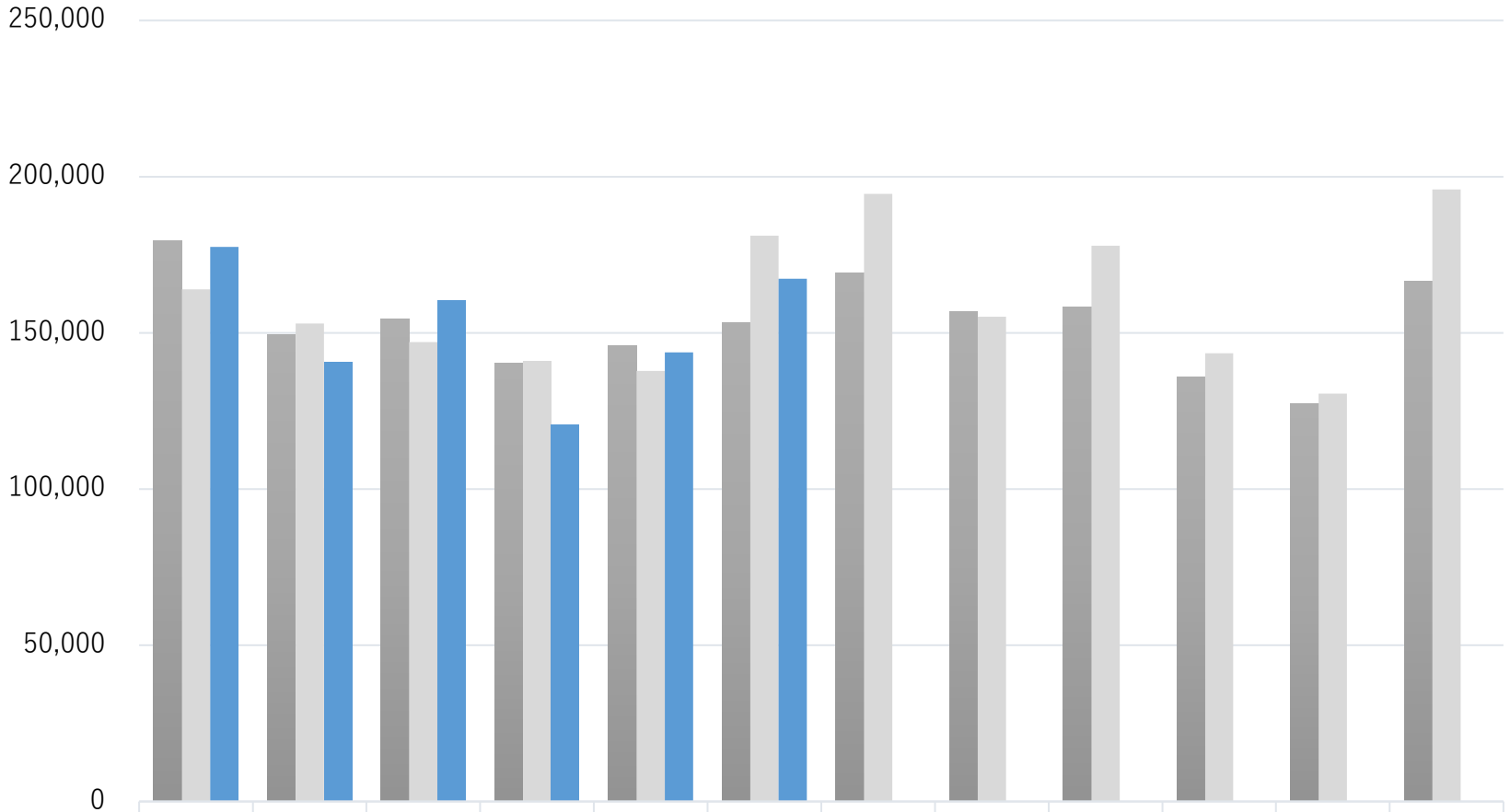


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均価格
2024年度	558	570	506	491	575	656	715	741	730	750	718	604	633
2025年度	536	556	512	472	539	561	635	703	609	674	676	486	579
2026年度	469	587	504	587	547	613							548

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

(参考)エリンギ 市場販売量の推移

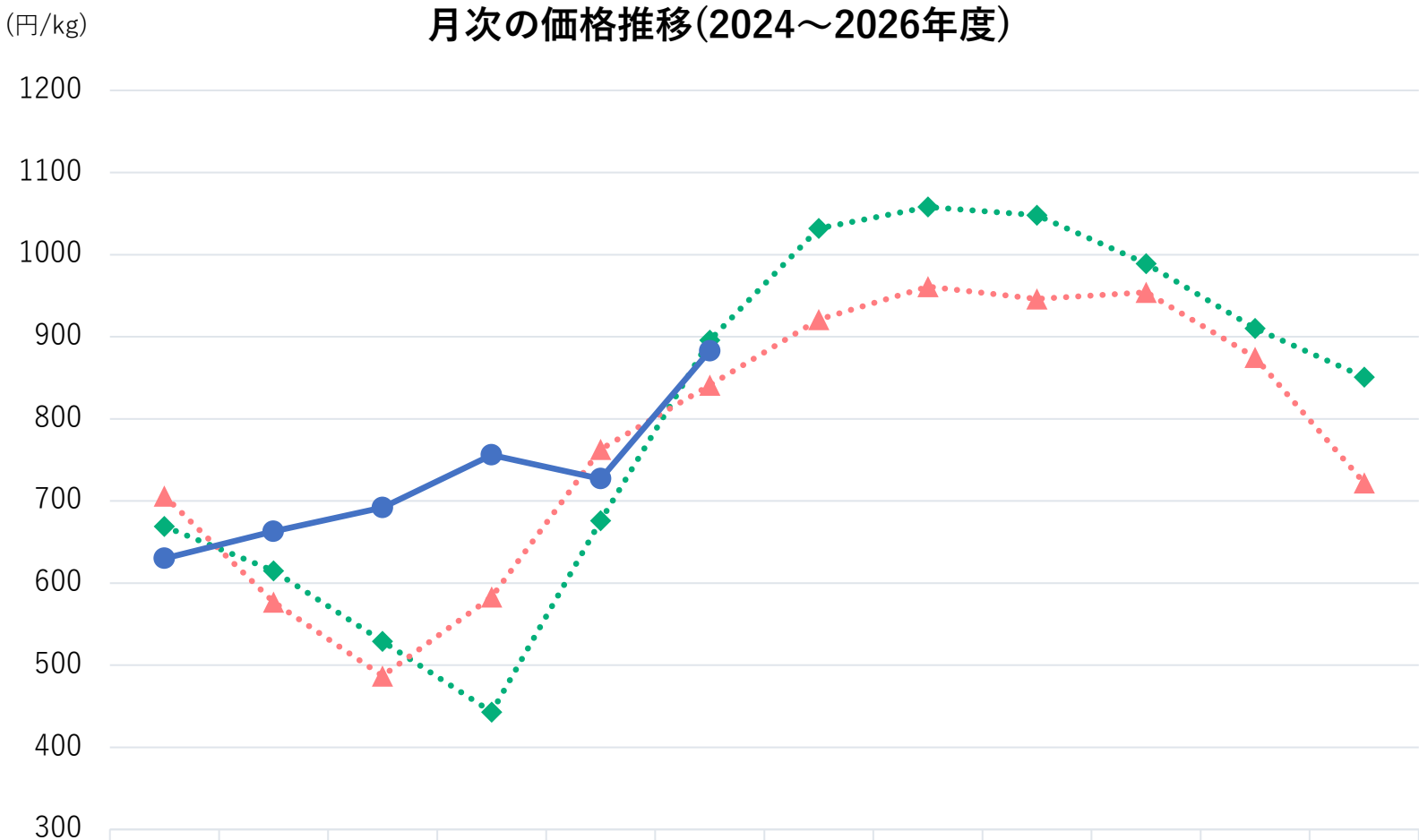
月次の販売量推移(2024～2026年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間販売量
2024年度	179,605	149,546	154,387	140,347	145,912	153,267	169,323	156,701	158,346	135,882	127,450	166,442	1,837,208
2025年度	163,952	153,015	147,030	141,035	137,825	181,137	194,512	155,134	177,908	143,491	130,602	195,939	1,921,580
2026年度	177,565	140,778	160,505	120,670	143,739	167,295							910,552

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

(参考)マイタケ 市場取引価格の推移

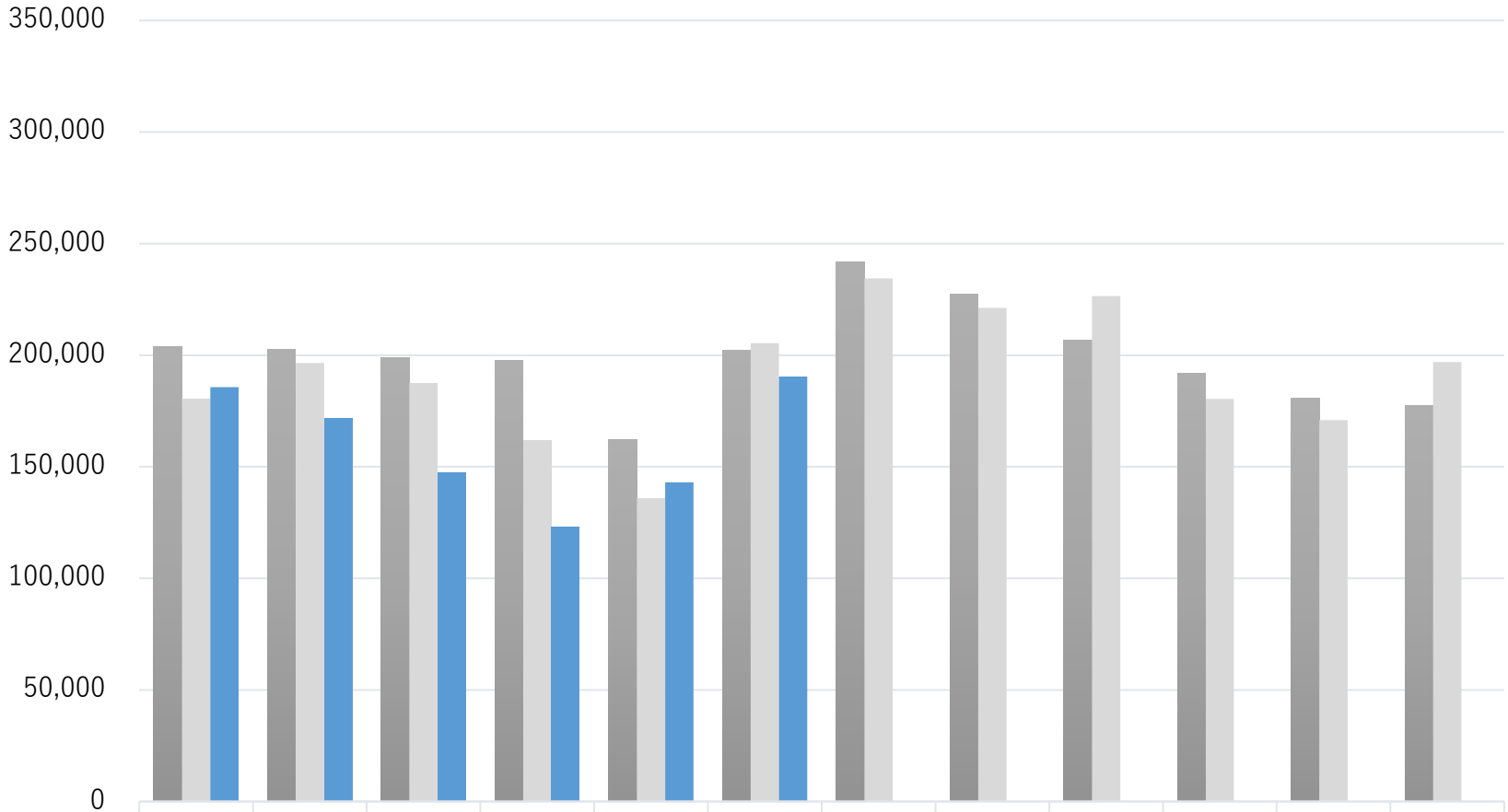


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均価格
2024年度	669	615	529	443	676	896	1032	1058	1048	989	910	851	817
2025年度	706	577	487	583	763	841	921	961	946	954	875	722	787
2026年度	630	663	692	756	727	883							726

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

(参考)マイタケ 市場販売量の推移

月次の販売量推移(2024～2026年度)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間販売量
2024年度	203,923	202,413	199,016	197,773	162,052	202,174	241,773	227,529	206,744	191,712	180,895	177,471	2,393,475
2025年度	180,594	196,547	187,529	161,936	135,890	205,352	234,353	221,230	226,463	180,362	170,889	196,917	2,298,062
2026年度	185,667	171,962	147,672	123,220	143,031	190,487							962,039

参考:東京都中央卸売市場、市場取引情報より

2027年3月期2Q 国内きのこ事業（平均販売単価の比較）

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ（ﾌﾞﾅﾋﾟｰ含む）	105.6%	104.4%
エリンギ	110.8%	103.8%
マイタケ	110.7%	107.2%
霜降りひらたけ	107.5%	104.7%

エリア戦略、マーケティング施策が奏功しきのこ単価は好調

2027年3月期2Q 国内きのこ事業（生産量の比較）

	当社前年対比	当社計画対比
ブナシメジ（ﾌﾞﾅﾋﾟｰ含む）	99.5%	100.2%
エリンギ	95.4%	98.1%
マイタケ	97.6%	99.5%
霜降りひらたけ	110.2%	100.9%

生産量はほぼ計画通り

ホクトグループの概要



ホクト株式会社

所　在　地	長野県長野市
代　表　者	代表取締役社長　水野雅義
証券コード	1379
上場市場	東京証券取引所プライム市場
発行済株式数	33,359,040株

時価総額	68,252百万円
株主資本	59,048百万円
従業員数	4,063人
主要事業	きのこの生産・販売

（2026年9月末時点）







ホクト産業株式会社

化成品の製造・販売



HOKTO Hokto Kinoko Company

HOKTO KINOKO COMPANY

北米でのきのこ生産・販売



Arden

株式会社アーデン

レトルトパウチ食品の製造



HOKTO 好菇道

台灣北斗生技股份有限公司

台湾でのきのこ生産・販売

株式会社サン・メディカ

Mushroom　Wisdom,Inc,

PT HOKTO INDONESIA MATERIALS



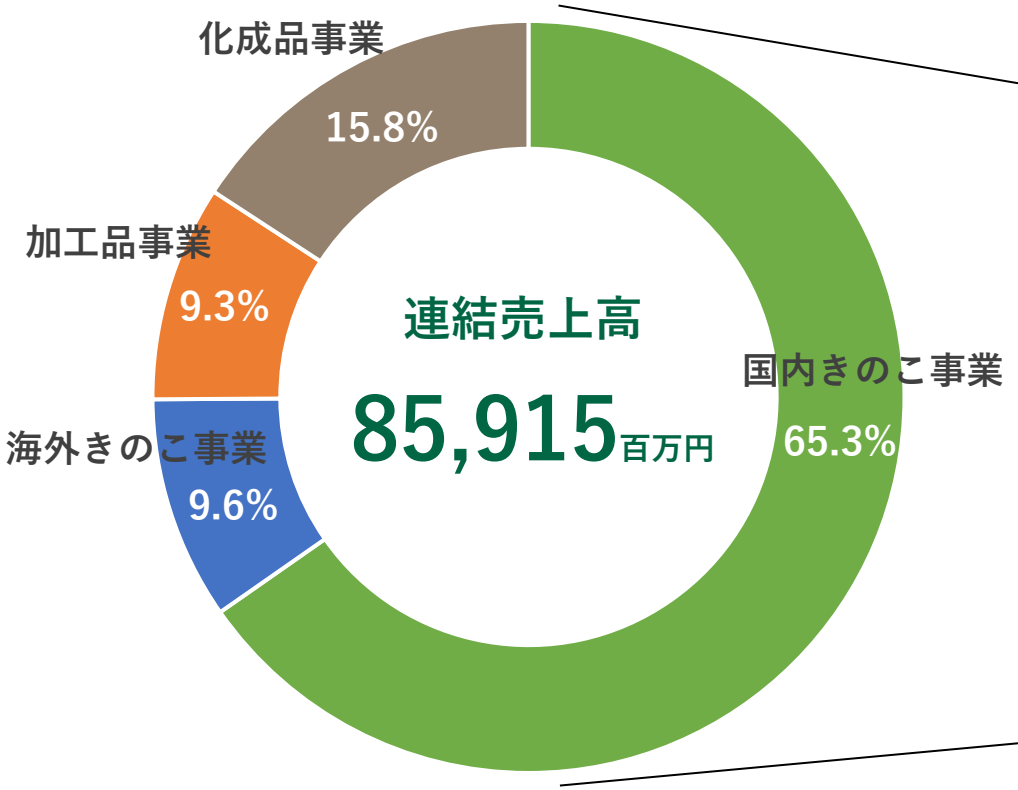
HOKTO Makes Health Tastier

HOKTO MALAYSIA SDN.BHD.

東南アジアでのきのこ生産・販売

ホクトグループの売上構成（2026年3月期）

セグメント



きのこ生産量



IRに関するお問い合わせ

財務本部 広報・IR室

TEL：026-259-5955

ホクト株式会社

